

令和6年度 第1回 築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和7年 2月18日(火) 午前11時00分開会

2 場 所 築上町役場 議会委員会室

3 出席者

(構成員)	築上町長	新川 久三
	教育委員会	
	委 員	麥田 猛美
	委 員	折本 美佐子
	委 員	小林 正尚
	委 員	鱒淵 尚徳
	教育長	久保 ひろみ

(構成員以外の出席者)

鍛冶学校教育課長、尾座本生涯学習課長、樽本教育施設整備室長、
濱田学校教育課参事、則松総務課課長補佐、中原学校管理係長、
岡部社会教育係長、野村スポーツ振興係長、藤江教育施設整備係長、
宮内指導主事、榎指導主事、寺門指導主事

(傍聴者) 1 名

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

午前11時00分開会

(1) 開 会

○学校教育課長(鍛冶 孝広君) 皆様、こんにちは。定刻になりましたので、令和6年度 第1回築上町総合教育会議を開会いたします。

進行を務めます学校教育課長の鍛冶でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、お手元に配付をいたしました次第に沿って進行させていただきます。

2点目の町長挨拶でございます。よろしくお願いいたします。

(2) 町長あいさつ

○町長（新川 久三君） 皆さんこんにちは。風邪を引いてしまって、すみません。ちょっと声が聞き取りにくいと思いますが、2月10日から13日までグアムに行っまいりまして、姉妹校の締結をしまいいりました。両校長、向こうのホゼ・リオス中学校の校長と締結のサインをしたという形になりましたが、帰りがとんだハプニングとなりました。

大体7時半の飛行機に乗る予定だったのが、空港に朝5時過ぎに着いたら、それが夕方5時にしか出ないという話になって、では成田行きに乗り換えようかという話になって、乗り換えたものの、その飛行機が途中で機体の調子が悪いという。それで、30分たったら引き返して、1時間遊覧飛行したようなもので、非常に長い時間空港に滞在して、また最初の5時の飛行機に搭乗手続きをしました。それで名古屋に着いたら、今度は、もう新幹線がないということで、名古屋に一泊して帰ったということでした。

そういうことで、姉妹校の締結は、無事、うまく行きましたので御報告をしておきたいと思えます。

それから、後の議題でいろいろ出てきておりますけれど、学校の関係、図書館、それからいろいろな議題がありますので、議論をしながら最終的な方向性を決めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） それでは町長、進行をお願いいたします。

(3) 報告事項

○STEAM教育の推進について（学校教育課）

○町長（新川 久三君） では早速、各課・室から報告ということで、この総ての報告後に質疑をお願いしたいということでよろしくお願いいたします。

まず、STEAM教育の推進について、学校教育課から報告を。

○学校教育課参事（濱田 健太郎君） 学校教育課参事の濱田です。資料につきましては、報告資料の学校教育課、STEAM教育に入っておりますのでそちらを御覧ください。町長のほうには、お手元に紙の資料を配付させていただいております。

1枚目の表に、令和6、7、8年度 福岡県重点課題研究指定・委嘱事業実施要項と書いているものでございます。

では、説明をさせていただきます。

STEAM教育というものは、そもそも何かというところになりますが、これはそれぞれ頭文字を表してまいりまして、サイエンス、科学、テクノロジー、技術、エンジニアリング、工学、

アート、芸術、マスマティックス、数学ということで、いろいろな分野の教育を幅広く行うようなものでございます。こちらの教育の推進に関しましては、福岡県教育委員会の指定を令和6、7、8年の3年間で受けております。

現在、椎田中学校区が受けていて推進をしているところでございますが、町といたしましては、椎田中学校区に限らず町内全体でこれを進めているところでございます。

01の資料に関しましては、県から委嘱されている事業の説明のものです。こちらにありますように、課題2のSTEAM教育等の強化と横断的な教育課程の編成というもので受けております。今後、3年間の研究としましては、来年度が2年次になりますが、このときは京築管内を対象に、最終年度は県内を対象に研究発表を行う予定となっております。

02の資料に関しましては、それを受けて、町でどのような推進をしているかを説明したものでございます。

築上町としましては、知をつなぎ社会をつくる子どもを育成するSTEAM教育の推進、Kidzukiサイクルを回し続ける学びの過程を通してということで進めております。

簡単に申し上げますと、いろいろな教科等を横断的に学びを進めること、そして学びが実社会や未来社会につながることで、それを子どもたちがわくわく感を持って学べることで、そこをキーワードにしながら進めております。

そのための手立てとしましては、Kidzukiサイクルという名前をつけておりますが、課題に気づいて、学びを築いていくということを繰り返しながら進めているところでございます。

今年度の実際の研究としましては、椎田中学校がまちづくりのプランを考えたり、椎田小学校が防災教育に取り組んだりということを進めております。今後もSTEAM教育の推進が進むように、委員会としては支援を続けていきたいと考えております。

簡単ですが以上です。

○築上町学校施設長寿命化計画（改定案）について（学校教育課）

○町長（新川 久三君） それでは、築上町学校施設長寿命化計画（改定案）について報告をお願いします。

○学校管理係長（中原 寿浩君） 学校管理係の中原でございます。共有フォルダーの学校教育課、築上町学校施設長寿命化計画（改定案）というフォルダーを御覧ください。データとしましては、①、②の2つ、掲載しております。ちょっとデータでは見にくいので、委員の皆様には紙媒体でお配りしていますので、そちらを基に進めていきたいと思っております。

2ページのところになるんですけども、計画の位置づけというところで図がございます。

国のインフラ長寿命化基本計画というのが平成25年に策定されまして、それを受けて、町として築上町公共施設等総合管理計画が、平成29年に策定されております。そして、その実施計

画となります築上町学校施設長寿命化計画、こちらが令和2年に策定されております。

本計画は計画期間が10年、令和11年までということで、そのうち、今年度が半分の5年目となっております。前期という言い方になろうかと思えます。その間に、関連する計画が様々、見直されております。また、新規に策定された計画もございます。そういったものを受けまして、6年目以降を後期と位置づけまして、本計画において、見直された計画や新しい計画等を反映すべく、このたび改定案をお示しするという形になっております。

今回の改正の主な内容としましては、先ほどの計画等を基にして、八津田小学校を除いたところで令和9年に再編統合が予定されている椎田地区の小学校施設に関しましては除外しております。

3ページを御覧いただくと一覧表がございます。今回、長寿命化の対象となる施設としましては、八津田小学校、下城井小学校、上城井小学校、築城小学校、椎田中学校、築城中学校という形で掲載しております。ですので、本計画の対象施設となりますと、10校から6校という形で減少しております。対象建物数という形になりますと、27棟から16棟へと大幅に減少しております。

減少という表現でございますが、あくまでも教育委員会が所管している学校としての用途である行政財産から、町長部局が所管している普通財産へと切り替わるということでございます。先ほども別の会議でございましたが、そういったニュアンスでございます。閉校後の跡地利用の方針にもよりますが、町として管理するか否かなど、検討の余地が今後あるかと考えております。

時間の都合もございますので、はしりながらということで30ページをお開きください。

長寿命化コストの見通しということで、更新手法の設定というところでございます。こちらは建物の規模、構造、用途、耐震基準、躯体の状況等により計算上の更新手法を定めております。

小学校のカテゴリーから申しますと、先ほども言いましたように、再編統合の対象となる椎田地区の小学校は統合までの必要最低限の補修のみを行うということで、椎田小学校、葛城小学校、西角田小学校、小原小学校の4校については、2年間、最低限の補修を行っていくということでございます。

八津田小学校に関しましては、建設されて間もないということもございしますので、長寿命化という位置づけで設定をしております。

築城地区の小学校につきましては、下城井小学校、上城井小学校、築城小学校に関しまして、建築年数に関してはかなり経過している部分もあるのですが、構造躯体の健全性は保たれておりますので、こちらも長寿命というカテゴリーで対応していくという形で設定しております。

続いて、31ページになりますが、中学校のほうです。

椎田中学校につきましては、令和9年度に一貫校が開校する関係がございしますので、新校舎を

建設するということで、こちらにも現有施設についても安全性を確保するための必要最低限の補修のみを行います。武道場と屋内運動場、こちらに関しては、一貫校が開校後も継続して残りますので、こちらに関しては長寿命化という形で設定しております。

築城中学校に関しましては、校舎に関しては建設して8年ほどたちますが、まだ健全という形の位置づけで長寿命化と設定しております。講堂につきましては、今後、築城地区の再編の関係の協議がまたどこかで話が進むということも考えられますが、現状では構造躯体の健全性は高いという形になりますが、老朽化は進行しておりますので、こちらは改築というカテゴリーを引き続き設定しています。

続いて、32ページ以降に関しまして、こちらは建築後40年で長寿命化改修をした場合の、さらに80年更新という形でプラス40年と、次の33ページのほうにはプラス50年ということで、90年更新した場合の試算の数字を載せております。

一つ一つ、当たりたいのですけれども、単純な比較としましては、通常工事をした場合、あちこちページが行って申し訳ございませんが、戻りまして、32ページを持ちながら14ページを見ていただくと、こちらが従来型の更新をした場合、長寿命化をしなくて、一つ一つ建物を壊れたら修理するというような計画性があまりないような形である場合です。こういった形のコストのときには、40年間で83億円かかるだろうと理論上、考えられております。年間約2億1,000万円を40年間の間で持ち出さなければいけないということでございます。

表の下の方に、10年単位で40年分、年間4.4億円、最初の10年はかかる。次の10年間は、毎年約8,000万円かかるだろう、次は2.1億円、次は0.9億円という形の理論上の数字で、年間の予算措置の必要な額が計上されております。

それを受けて、長寿命化の計画ということで、計画的にある程度、40年間、長寿命化対策をしていくということになると、最初のパターン1ということで、80年更新です。そういう形になると、40年間の総額は先ほどより増えます。92億円ということになるんですが、平均的には年間の負担額は2億円ということで、1,000万円だけ減っています。

そして、下のほうにあります10年間の負担ということなんですけど、年間、最初が約3億円、次の10年が1.8億円、次が2.1億円、次が2.4億円と、若干目減り、特に最初の10年は1.4億円減少しているという形の結果が出ております。

さらに、10年延ばした90年ということで、34ページにございますが、こちらは40年間の総額が74億円ということで、10年分延ばした分、減っているという形の結果ということでございます。

それでも、年間の負担額は1億円以上から2億円ということで、どの計画に関しましてもそこまで負担額としては減らないんですけど、最初の10年間の数字から考えますと、従来型よりは

抑えることができていると、言い換えれば、計画的に行えばできるということでございます。

今後、また新しい計画ができれば当然、この計画も修正が必要となってきますので、そちらに関しては、適宜修正をかけなければいけないのかなと考えております。

どうしても厳しい財政状況というのがどこかしこでも出てきますので、そういった財政部局との協力を得ながら、中長期的な視点により、計画的に充実した教育環境を確保するために、既存施設の維持管理、更新に係るトータルコストの縮減と整備費の平準化ということで、あれもこれもというのはちょっとできない時代になってきていますので、計画的に実施するというのを考えております。

今後につきましても、令和11年度でまた、本計画は最終的に全改定される形になりますので、それまでに最新データを集めながら、本計画の修正も場合によってはあり得るかもしれませんが、次の計画にも反映させていくということで、関係各課と協議の上、計画内容の見直しは随時行っていきたいと考えております。

説明は以上となります。

○町長（新川 久三君） ただいまの説明について質疑のある方、お願いします。折本委員、お願いします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。30ページのところにあります更新手法の設定のところですが、下城井、上城井のところなんですけれども、約1年ぐらい前でしたか、築城中校区は統合しないということがほぼ決まった後の会議で、たしか私、お尋ねしたと思うんですけれども、存続していく場合は、学校の老朽化とかで存続しても耐え得るのか調べてほしいという意見を言った記憶があるんですが、それ以降の、調べた後の結果でしょうか。下城井、上城井小学校、建築後40年経過し老朽化が進んでいますが、構造の安全性・健全性は保たれているということが示されているんですけれども、これを調べたのは最近のことでしょうか。

以上です。

○町長（新川 久三君） これは、今は質問だけで、答えは最後でいいですかね。一応、全部、説明が終わってからで。他に質問はないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○図書館建設事業について（教育施設整備室・生涯学習課）

○町長（新川 久三君） なければ、次に、図書館建設事業に入ります。教育施設整備室、それから生涯学習課。共に関係あるので、両方からお願いします。

○教育施設整備室（樽本 知也君） 教育施設整備室の樽本でございます。教育施設整備室からは、図書館建設工事の今の現状について説明させていただきます。

工事につきましては、昨年、条件つき一般競争入札によりまして松山建設株式会社京築支店が

落札し、令和7年8月29日までの工期で現在、改修工事を進めているところでございます。

なお、工事の着手前の現場確認で、1階の外壁タイルの大規模な剥離が確認されました。そのため、開館後の安全対策といたしまして、現在、外壁タイルの調査及び危険箇所の改修計画を検討いたしまして、今後、変更契約を議会に提案したいと考えております。

そのほかの工程については、スケジュールどおり進んでおります。

なお、今回お手元に紙ベースでお配りしているイメージパースについてなんですけれども、打合せの中で、内部のエントランス部分の吹き抜けが、少し薄緑のような形の色に当初のイメージパースと変わっておりますので、今回、つけております。

それと、外のカフェ部分のパースも、今回、何点かつけておりますので、参考までに御覧ください。

こちらの部分につきましては、後日、ホームページのほうにもアップしたいと考えております。

工事については以上でございます。

○生涯学習課参事（脇山 千賀子君） 生涯学習課図書館係の脇山でございます。私からは、築上町図書館築きのもりについて、今まで事業を進めてきたことを御説明いたします。

資料は、報告資料の中の築上町図書館築きのもりについてを御覧ください。

御存じのとおり、現図書館は延べ床面積345㎡と大変狭く、学習席、閲覧席も合わせて16席しかなく、また、開架や閉架など本の保管場所も十分には確保できていませんでした。

そのような中、支所利活用検討委員会での検討を踏まえ、令和3年11月に築城支所への図書館移転整備の方針が打ち出されました。

資料の4番になるのですが、経過としまして、教育委員会では令和5年1月に築上町図書館基本構想・基本計画を、翌令和6年5月に築上町図書館管理運営方針及び築上町図書館サービス計画を策定しました。現在、これらの計画に基づき、整備を進めているところです。

資料の1番、基本理念ですが、今年11月22日土曜日にオープンする予定の築きのもりは、「～出会う・つながる・わくわくする～豊かな心と学びの心を育む、くつろぎの図書館」を理念としております。

2の概要について、築城支所を全面改修し、1階から3階まで図書館となり、広さは現図書館の約8倍の2,847㎡、所蔵可能冊数は約10万8,000冊、サイレントスペースを含め約50席を超える学習席、その他十分な閲覧席を確保し、館内はフリーWi-Fiも完備する予定です。

1階は、主に児童書を置き、従来の静かに本を読む図書館とは違い、滑り台などを設けた遊べる本棚などがあり、子どもたちが楽しく遊びながら本と触れ合える場所となっております。

2階は、1階とは違い、静かに読書や学習ができるフロアとなっております。中学生、高校生

の10代を対象としたヤングアダルトコーナーを新設する予定です。

また、3階は多目的に使えるスペースと閉架書庫があります。

さらに、利用者の利便性の向上を図るため、併設のカフェもオープンします。10月に公募いたしまして、選定された方と契約を締結し、現在、準備を進めているところです。子どもから高齢者まで利用していただけるメニューを提供していただくため、築上町の食材を使った築上町らしいメニューをお願いしております。

広い館内のエントランスや共用スペース、2階のプロジェクターを備えた視聴覚室や集会室、3階の多目的室では、お話し会、ボードゲーム、ミニシアター、ものづくりのワークショップ、講座や研修など、さらに行政と協力して各種イベントを開催することも可能と考えております。

図書館職員だけで実施するのではなく、イベント展示企画を募集し、町民自らが主体となってイベントを企画していくことも予定しております。

また、本の配架や館内の見守りなど、築きのもり応援団としてボランティアを募り、町民と協働で図書館づくりを行っていきたいと考えております。

図書館の広さや資料の充実に加え、会社や学校帰りの方にもゆっくりと利用していただけるよう、開館時間について、2階部分を平日は午前10時から午後8時までにしたと考えております。

さらに、新図書館の準備期間中や年末年始、蔵書点検などの休館時に、また遠方で来館が難しい方にも御利用いただける電子図書館も現在、整備を進めるなど、サービスの拡大を図っています。

事業費については資料の3、事業費のとおりですので御覧ください。

5番目に、管理・運営及び職員体制についてです。一部業務委託や指定管理についても、メリット・デメリットを整理し、比較検討を行いました。町直営が望ましいと考え、当面の間は町直営で運営していきたいと考えております。

6番目に、広報及びPRです。広報及びPRについては、住民の機運を高めるため、昨年9月にチラシを作成し、説明会、自治会長会などの各種総会、はたちの集い等で配布、町内隣組での回覧板での周知を行うとともに、サイネージでの動画放映を、椎田、築城両駅、役場庁舎内、現図書館で行っております。

また、広報ちくじょう8月号から、「築きのもりだより」のコーナーを設け、毎月、新しい図書館の情報をお知らせしています。

そして、昨年9月8日に開催した築きのもり説明会には約90名の方が来られ、住民の関心、期待の大きさが伺われました。

今後の予定としましては、来月3月30日に第2回説明会を開催し、先ほど申し上げましたボ

ランティアの築きのもり応援団及びイベント展示企画の募集について説明をする予定です。

また、来月の第1回築上町議会定例会において、築上町図書館条例の全部改正を上程する予定です。その後、同条例の規則も全部改正を予定しております。

令和7年度は、8月中旬に現在の図書館を閉館して、8月29日の竣工後は、すぐに引越し作業を開始するなど準備を進めていきます。

また、11月22日のオープンの日には、記念式典及び記念講演を計画しております。

最後になりますが、一人でも多くの利用者の方に御来館いただき、知の拠点であるとともに、交流の場でもある、魅力ある居心地のよい図書館づくりを目指して、教育委員会一丸となって取り組んでまいります。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） 教育施設整備室と生涯学習課から、図書館建設事業についてという説明がありましたが、何か質問ありますか。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○椎田地区小中一貫校建設事業について（教育施設整備室）

○町長（新川 久三君） それでは、次の椎田地区小中一貫校建設事業について、教育施設整備室から説明をお願いします。

○教育施設整備室（樽本 知也君） 教育施設整備室の樽本でございます。教育施設整備室からは、椎田地区の小中一貫校建設事業についてを説明させていただきます。

本事業につきましては、令和6年当初は、デザインビルド方式により、実施設計業務と建築工事を一括発注する計画でございましたが、事業者の募集を行ったところ、応募者が規定の数に達しなかったため中止となりました。そのため、令和6年度は実施設計業務のみを先行発注し、現在、設計業務を進めているところでございます。

なお、今後の事業工程につきましては、別に配付しております事業全体スケジュールを御覧ください。

本年度の実実施設計業務の終了後、令和7年度から令和8年度にかけて、1期工事といたしまして、校舎棟の建設工事と一部外構工事を計画しております。工期は、令和9年2月末までを予定しておりまして、令和9年4月の開校を目指しております。

その後、開校後の令和9年度から令和11年度にかけては、校舎周りの外構の2期工事、そして旧校舎の解体を第3期工事、そして小学校グラウンドの工事を第4期工事、そして中学校グラウンド工事を第5期工事といたしまして、児童生徒の安全面を考慮いたしまして、1期工事から5期工事までの各工事の期間は重複しないような計画としております。

なお、別敷地に約120台程度の駐車可能な駐車場の整備も同時に計画しております。外部駐

車場につきましては、令和7年度に先行して用地の取得を行いまして、1期工事の建築工事中は、仮設の臨時駐車場、また工事ヤード等で利用し、1期工事、校舎棟の工事が完了後に駐車場の造成工事を行う計画でございます。

なお、基本設計のときに敷地内に整備予定としておりました放課後児童クラブにつきましては、校舎棟内での運用が可能ということを判断いたしまして、新たな建物は建設しない方向で現在、計画を進めております。

全体スケジュール以降につきましては、1期工事から5期工事までの、今現在のローリング計画をスケジュール以降に添付しておりますので御参照ください。

今のところの設計概要、また工事のローリング計画につきましては、以上となっております。

○町長（新川 久三君） 椎田地区小中一貫校建設事業についての説明が終わりました。質問はありますか。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

（４）意見交換

○町長（新川 久三君） 一応、報告事項は終わりました。それでは、意見交換ということに入りたいと思います。

まず、折本委員の質問について、中原係長から回答をお願いします。

○学校管理係長（中原 寿浩君） 従前の会議、統廃合の説明会を受けてというところもあるのですが、健全性があるかないかというところですが、構造躯体につきましては、少々古いのですが平成21年、23年ぐらいをめどに、構造の耐震診断をしております。

その際に、Is値と言いまして、31ページにあるんですけど、これが0.3を下回るような建物だと危険性が高い建物ということで、文科省のほうでも定義されております。概ね0.7を上回る、1に近づくよう、1以上になるような建物に維持するというのがまず、基本的な概念になります。

今後、建物本体につきましては、大規模改修がある際とかであれば、耐震の診断も当然、入れていかなければいけません。当然、コストもかかりますので、頻繁に行うというのは厳しいというのも現状ではございます。

表面的な改修に関しても、健全性があるかというところの言葉とはちょっと違うニュアンスにはなりますので、あくまでもこれは構造躯体の健全性ということで、表面的な改修というのはもう常時、その都度対応してっております。

当然、中規模程度の改修に関しましても、予算を確保して速やかに実施するという概念を持っておりますので、この文言で言いますと、これは耐震に関する健全性という意味合いでございますので、御了承いただけたらと思います。

○町長（新川 久三君） 鍛冶課長。

○学校教育課長（鍛冶 孝広君） 学校教育課、鍛冶でございます。学校施設の老朽化状況の実態ということで、15ページに資料が添付されております。

今、係長がお答えしたとおり、耐震診断については平成21年度、平成23年度と、ある程度以前の状況でございますが、その一番右端にIs値ということで記載しております。下城井小学校については0.72です。そういうところで今回、判断をさせていただいたところでございます。

今回の改定につきましては、この10年間の計画の後期の改定ということでございますので、今後また、令和12年度以降、2期の計画策定の際には、改めての耐震診断、当然コストがかかりますけど、その辺のところも検討しながら、2期に向けては検討してまいりたいと考えています。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） よろしいですか。質疑の回答は終わりたいと思います。

あと、意見交換ということで、STEAM教育の推進についてということで意見交換をお願いします。何か、皆さんで、これについての考えがあれば述べていただきたいと思います。久保教育長。

○教育長（久保 ひろみ君） 先ほど、濱田参事のほうからSTEAM教育についての説明があったところですが、このSTEAM、サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、アート、マスマティックスということで、これを教科横断的につないだ教育活動を総合的な学習の時間を中心に今、実施しています。

先ほど紹介がありましたように、椎田中学校ではこの築上町のまちづくりにどう対応していくかというプロジェクトをしたり、それから椎田小学校では防災教育、そして西角田小学校ではあまおうプロジェクトということで、地元の企業とコラボレーションをしながら、子どもたちが考えたパフェをつくって、現在、豊前のおこしかけで販売もするということになっております。

実際の授業を見てみますと、子どもたちが、生き生きと活動していますし、これから、教えられたことを暗記するとか覚えるという時代ではなく、AI時代にやはり自分の頭で考え、判断していくという力をつけるためにも、STEAM教育が非常に有効ではないかという取組をした1年目なんですけど、私なりに手応えを感じているところでございます。

これについて、委員さんそれから町長のほうから御意見をいただければ、さらに改善して充実したものにしていきたいと思っているところでございます。

○町長（新川 久三君） 私からちょっとお聞きします。これは2ページ目か、3ページ目か、四角の中に二重丸と丸を書いた四角があります。これが養われるということになれば非常にいいこ

とではないかなと思うので、これがもう、理念でしょう。こうして、思考力、判断力、表現力、
上が知識及び技能かね。学びに向かう力、人間性ということで、失敗を恐れず、わくわくしながら
課題解決に向かおうと、こういうのが大事じゃないかと思います。

こういうことが身についてくればいい、人間性の形成につながるんじゃないかなと思いますの
で、これはぜひ、どんどん進めてもらいたいと思います。

○指導主事（宮内 智久君） 指導主事の宮内でございます。このSTEAM教育は、もう既に高
校で始まっております。探究的な学習の時間ということで、相当力を入れているところでござい
ます。現に本年度の高校入試が始まっておりますけれども、私立の高校の面接で、中学校でどん
な総合的な学習の勉強をしましたかと聞かれたそうです。

また、推薦入試、公立校では、高校でどんな探究を学びたいか、したいのかということを論文
で書かせられたという報告が上がっておりますので、こういう小学校、中学校の取組が高校入試
にも生きていっているということだという報告です。

○町長（新川 久三君） 何かないですか。鱒渚委員。

○教育委員（鱒渚 尚徳君） 鱒渚でございます。先月、椎田中学校で夢授業が開催されて、やっ
ぱり先生たちも、まちづくりというキーワードを言われて、職業人も、そういう人になるべく呼
んでくださいというようなことも受けて、職業人を探しましたし、椎田小学校も防災に力を入れ
て、やっぱり講師の先生も、地元椎田小学校卒業の方が講師として来ていましたので、先生のほ
うもSTEAM教育で大分いろいろ考えながら、子どもたちと一緒にしているなという印象は受
けました。

○町長（新川 久三君） では、折本委員。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。先ほど教育長が言われた件ですけれども、STEAM
教育、とても私もいいことだとももちろん思いますし、築上町の教育委員会が、積極的に学校現場
でやっているというのは、本当に素晴らしいことだと思っております。

あまおうのはテレビ放映がありましたよね。私、リアルタイムで見ました。宮内先生と濱田参
事も出演されていて、現場にいらして。子どもたちが本当に生き生きとしていて、自分たちの
チームで考えた事をしっかり発表できていて、地域の方と協力してということで、町民としても
あの様子を見て嬉しかったし、教育委員としてもうれしく思いました。

それから、先週か先々週だったと思うんですけど、葛城小の子どもたちがKBCかどこか、局
は忘れましたが、出ておりまして、それもびっくりして、とてもうれしかったです。

私は長年、合唱指導で築上町、ほかの町も携わっているんですけども、何となく印象として、
子どもたちを隠すという言葉は合わないかもしれないんだけど、撮影にしてもNGが多かったり
とか、安全のためにそういう規制はあるんだと思うんです。でも私は、昔から子どもたちと触れ

合う中で、もっとこのすばらしい子どもたちを表に出していけたらいいのにな、この子どもたちのすばらしさをほかの方たち、地域の方たちにも見ていただけたらうれしいなって、何十年も前から思っていましたので、どんどんそういうことがされて、築上町で、学校現場でされているのをとてもうれしく思いました。これからもよろしく願いいたします。

○町長（新川 久三君） 小林委員、お願いします。

○教育委員（小林 正尚君） これまで、自分も教育に携わってきて、何か、子どもに指導する中で足りないな、何なのだろうというふうにずっと考えてきたんですけど、まさにこのSTEAM教育のほうにつながっていくのかなというのを最近、感じています。

1つの教材を通して、いろいろな自分が今まで学んだことを活用して、それが実際の社会につながったり、自分のこととしてつながっていくというのが非常に体験、また経験できるような教育じゃないか。そこら辺が、そういう価値観が子どもたちに、こういう学習したことがこういうふうにつながっていくんだ、そして社会のためになるんだというところが非常に構築された教育かなと思います。

なので、ぜひ濱田参事等々、指導主事の先生も指導されていると思うんですけど、そういう中でぜひ、先進的な教育ということで、福岡県の先頭に立った誇れる教育だと思いますので、ぜひ推進をお願いしたいと思います。

○町長（新川 久三君） 濱田参事、どうぞ。

○学校教育課参事（濱田 健太郎君） お知らせです。椎田中学校の取組を御紹介したんですが、2月27日の木曜日に、議場を使って各課長の皆様に子どもが考えたプランを提案する場がありますので、もしよろしければそういったところでも実際の姿を見ていただければと思います。2月27日です。時間が1時30分から行う予定です。

○町長（新川 久三君） STEAM教育の推進ということで、私は最初、STEAMって何のことだろうかなと思っていたけど、蒸気教育じゃないのかなと思っていたけど、内容が分かって、理解しました。

それでは、築上町学校施設長寿命化計画（改定案）について、意見交換したいと思います。どなたか、意見のある方。麥田委員、どうぞ。

○教育委員（麥田 猛美君） 麥田でございます。全体的なイメージは、よく分かりやすく説明していただいたので分かったんですが、僕が一番心配しているのは、敷地の北側、池があるところ。地図で言ったら上中ノ迫池と、池が2つつながっているんです。椎田中学校です。

ずっと、私は学校の様子を見に行っているんですけど、これまでずっと見ていた中で一番心配しているのは、池のところと学校の敷地のところの法面、及び法肩の部分が耐えられるかどうかというのがあるんです。もう今現在、法肩の部分に立っているフェンスは倒れかかっています。

要するに、基礎が打てないんだろうと思うんです。

フェンスをする基礎が、あそこに工事できないから倒れているとしか思えないんですけど、例えば工事の途中でもそうですけど、あれが今年の7月から工事が始まって、どれぐらいの人が、動いていくか分からないんですが、あの状態でそれこそ安心安全に工事ができるかなという心配はとてもしています。多分崩れるだろうなど。

テニスコートの法面は1回、崩れたんです。補修していただいたから、今は何とか通れるようになりました。インコースを通らずに、少し大回りすればあまり傷まないのかなと思ったけど、武道場のところから体育館、そして昔、体育倉庫があったところ辺りまでのいわゆる敷地の法面と法肩の部分は今のままでいいのかなという気がちょっとして、毎日、見ているような状況です。

その辺何か、これは工事に直接関係ないかも分かりませんが、何か補強工事をするのか、あのままで終わらせるのかということだけでも聞かせていただくとありがたいです。

○町長（新川 久三君） 池の改修ですね。これは建設課がするので、私も頭に入れて、建設課に見にいかせてみましょう。そうすれば、修繕も補修も可能だと思います。中原係長。

○学校管理係長（中原 寿浩君） 学校管理係、中原でございます。先ほど町長がお答しましたように、池の管理に関しては水利組合で行っており、それを管轄しているのが建設課という形になっております。

私どもも、従来、木のツタの伐採、これに関しては苦慮しております。都度都度、早め早めの管理をしていただきたいと申入れをしております。その辺の調整がうまく行かないと、どうしても周辺のフェンスの辺りにも手を出しにくいというところもございますので、お互い、話が調整がついた時点では手を掛けられるかなと考えております。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） 他に何かないですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（新川 久三君） では、僕から1つ、長寿命化になるかどうか分からないけれども、築城中学校の体育館。これ、校舎に比べてみずばらしいよね。塗替えできればいいかなと思っているけど、予算要求したことがありますか。塗装するよう見積を取ってみて、予算が通るかどうか分からないけど、最終的には僕やけど、財政事情があるから、そのところはどうするかという、担当課、財政課あたりがね。どう見ても、やっぱり教育上あんまりよくないかなと思うので。

○教育委員（鱒淵 尚徳君） 鱒淵でございます。今の町長の発言について、中は最近、改修したと思うんですけど、やっぱり外壁とかがちょっと老朽化が激しいかなと思うので、1回、点検はしたと思うんですけど、椎田小学校の件もあるので、やっぱりもう1回、見てもらったほうがいいかなという気はしました。

○町長（新川 久三君）　そういうことで、長寿命化にはつながらんとと思うけど、塗装あたりはね。他にないですか。

では、次に、図書館建設事業についての意見交換に入りたいと思います。どなたか、何かありますか。鱒淵委員。

○教育委員（鱒淵 尚徳君）　鱒淵でございます。築上町に働きに来ている方、北九州のほうの方なんですけど、この前、お話しする機会があって、「そこの図書館、私たちが使っていいの」というような意見があったので、もう少しアピールとか、誰でもいいんですよっていうようなアピールがちょっと、足りなかったのかなというような印象を受けたので、もう少し、その辺を踏まえたアピールの仕方をしていってもらえたらいいなというふうに感じました。

○町長（新川 久三君）　一応PRを、誰でも使っていいというPRをお願いします。脇山参事。

○生涯学習課参事（脇山 千賀子君）　生涯学習課図書館係の脇山です。図書館のホームページもありますので、その辺をもうちょっと周知して、たくさんの人に来ていただけるようにしていきたいと考えております。

○町長（新川 久三君）　この件はいいですか。

それでは、椎田地区小中一貫校建設事業についての意見交換に入ります。何かありますか、皆さん。今の説明では、設計だけしかまだ、設計もまだ出来上がってないからね、大体今までと変わってないという状況です。

何かあれば。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

（５）その他

○町長（新川 久三君）　それでは、意見交換は終わります。

その他について何かあれば。その他、ございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○町長（新川 久三君）　では、第１回築上町総合教育会議は、以上で終わりたいと思います。どうもありがとうございました。

午前１１時５５分閉会
